申請を行う金融機関は、本表によって、申請内容が基準に合致しているか、ウェルネス・フーズ産業支援センターへ事前確認をとること

静岡ウェルネスプロジェクト 資金使途判断表

1 企業名

2 企業概要

--

3 本件資金の内容

①資金使途

項目	具体的な資金使途及び金額の算定根拠	金額
研究開発費		千円
製造経費		千円
販売経費		千円
合計		千円

※資金使途は具体的に記載すること。

※融資金額については、資金使途に事実上必要な金額のみを計上し、かつその算定根拠を示すこと。(必要に応じて別紙に添付すること)

②事業内容

--

③未来型食品等又はウェルネスサービス・製品等の内容

対象製品等の種類 (別紙資金使途基準(1)～(10)より選択)	
※記載内容については、差別化等要素及びその客観的な根拠を示すこと。 ※過日に当制度を利用し、かつ再び利用しようとする場合、その理由及び上記特定施策に対する成果を判断表に付記すること。	

※別紙資金使途基準「対象製品等の種類」より、該当する項目番号を記載すること。

※同上基準より、「資金使途判断表記載に係る事項」に留意の上、資金使途の内容を記載すること。

※各項目記入部分が不足した場合には、行の追加や別紙資料添付等、適宜対応すること。

資金使途基準

基準概要	<p>・本資金使途判断基準においては、静岡県特別政策資金融資制度要綱における「特定施策」を、静岡県が振興する「静岡ウェルネスプロジェクト」として位置付ける。</p> <p>・本プロジェクトでは、「未来型食品の開発」及び「ウェルネス産業の創出」等を通じた食品・ウェルネス産業の振興を主旨としているため、本制度融資に係る資金使途についても、同主旨と合致するものを対象とする。</p>	
対象資金	<p>未来型食品等※1又はウェルネスサービス・製品等※2の研究、開発、製造、販売に必要な設備資金、運転資金</p>	
対象製品等の種類	<p>※1 対象食品等</p>	<p>(1) 食の社会課題解決に資する加工食品 (2) 高付加価値食品 (3) 食品素材を活用した化粧品 (4) 対象食品等の付加価値又は生産性向上に寄与する製品・加工機械 (5) その他当プロジェクトに資すると判断される対象食品等</p>
	<p>※2 ウェルネスサービス・製品等</p>	<p>ウェルネス・フーズ産業支援センターによる<u>支援実績のあるサービス、製品等、かつ公的医療保険・介護保険及びその他個別法による許認可が必要なサービス・製品を除いた</u>以下のものとする。</p> <p>(6) 食とウェルネスを掛け合わせたサービス (7) 自然・温泉等の観光資源を活用したウェルネスツーリズム (8) センシング技術を活用した健康増進に資する製品 (9) 健康経営推進サービス (10) その他当プロジェクトに資すると判断されるウェルネスサービス・製品等</p>
資金使途判断表記載に係る事項	<p>差別化等要素の記載</p>	<p>①資金使途対象製品・サービス等については、差別化等要素を併せて記載すること。当該要素の例は以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規性、優位性 ・品質 ・市場競争力 ・製造又は提供技術 ・客観的評価（分析結果、特許、受賞歴等） ・その他差別化等要素と判断できるもの <p>②差別化等要素の模倣困難性（独自性）を併せて記載すること。</p> <p>③上記①②に対し、その根拠を示すこと。 提示に当たっては競合する既存製品・サービスとの比較内容等、可能な限り客観的かつ定量的な根拠資料を付記、又は添付すること。</p>
	<p>留意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当制度の利子補給は静岡県特別政策資金融資制度要綱のとおり、特定施策に対応するために事実上必要な融資（資金使途）に対して交付されるものであり、当該資金使途以外での制度利用はできないこと。 ・融資額については、資金使途に事実上必要な金額のみを計上し、かつその算定根拠を示すこと。 ・過日に当制度を利用し、かつ再び利用しようとする場合、その理由及び上記特定施策に対する成果を判断表に付記すること。